

1. 略歴

1980年4月	東京大学教養学部理科Ⅰ類、入学
1982年4月	同学部教養学科第一文化人類学分科、進学
1984年3月	同学科、卒業
1984年4月	東京大学大学院社会学研究科修士課程文化人類学専攻、入学
1986年3月	同修士課程、修了
1986年4月	同研究科文化人類学専攻博士課程、進学
1988年4月	社会学研究科より総合文化研究科へ移管
1990年8月	東京大学大学院総合文化研究科博士課程文化人類学専攻、中途退学
1995年11月	東京大学大学院総合文化研究科、博士号（学術）取得
1994年4月	東京大学教養学部専任講師（～1997年3月）
1996年4月	大学院総合文化研究科超域文化科学専攻専任講師に配置換
1997年4月	東京大学大学院総合文化研究科超域文化科学専攻助教授（～2004年9月）
2004年10月	東京大学大学院人文社会系研究科基礎文化研究専攻助教授
2005年4月	国立民族学博物館文化動態研究部門客員研究員（～2009年3月）
2009年4月	東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学研究専攻准教授
2014年9月	東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学研究専攻教授

2. 主な研究活動

多様な状況における文書・読み書き、その人間・社会との関係の研究

a 専門分野 b 研究課題

文化資源学（文書文化論）

主に発展途上国を念頭に置きつつ、広く文書・読み書きと人間・社会の関係について研究している。また、調査研究方法の検討、改善にも強い関心を持っている。様々なフィールド調査で得られるデータや知見を、言語能力、数的能力、道具使用等に関する認知科学や、文書をはじめとする認知的人工物（cognitive artifacts）の変化に関する歴史学的研究と有機的に接合することを目指して、隣接諸分野の研究者との共同研究にも積極的に取り組んでいる。

c 概要と自己評価

以下の3つの課題を意識しつつ、相互に関連しあう複数の研究を並行して進めた。

- ・文化資源としての文書文化の考察
- ・デジタル技術と文書文化の関係の考察
- ・文書・読み書きに関する多様な領域の専門家との共同作業の推進

（1）2014.4 より国際協力機構（JICA）中米・カリブ地域生活改善広域アドバイザーとして現地調査、協力を行ってきたコスタリカ共和国における生活改善プロジェクト情報システム構築に関する共著論文「JICA Institute Working Paper No.146」をアップデートとした同タイトルの論文が公開された（査読論文）。また、コスタリカ共和国農業牧畜省普及総局において、生活改善プロジェクト情報システム SIMEVI の活用に関する講演を行った。

（2）共同研究者として参加した国立民族学博物館・共同研究プロジェクト「近代ヒスパニック世界における文書ネットワーク・システムの成立と展開」（2013.10-2017.3、代表：吉江貴文）の成果を踏まえた論集に寄稿した（査読論文）。また、真鍋陸太郎とともに地理情報システム学会第28回学術研究発表大会において成果報告を行った。これらの成果を踏まえ、現在、16世紀スペイン会計文書を対象として人文情報学のアプローチを用いた研究を進めている。

（3）2017年5月より幹事を務める東京文化資源会議（伊藤滋会長、吉見俊哉幹事長）において、地域の文化資源の調査、活用にも積極的に取り組んでいる。活動成果の一部は、2020年の公開を予定している。

（4）この他、依頼を受けて文化資源の調査と活用に関する講義を行った。

以上のように、歴史学、情報学、国際協力、地域開発・まちづくりなど多様な分野の専門家との共同作業を積極的に行い、成果を発信するという基本方針に沿った活動を継続している。この二年間は、調査研究だけでなく、これま

で蓄積されたデジタルデータの活用、さらには今後も蓄積されることを考慮に入れた制度設計の重要性をより強く認識するようになっている。引き続き、学際性、社会連携、情報技術の積極的活用を重視した文化資源の分析を進めていく。

d 主要業績

(1) 著書

共著、中村雄祐、『近代ヒスパニック世界と文書ネットワーク』、悠書館、2019.4

(2) 論文

Tomomi Kozaki, Yusuke Nakamura, 「The Evolving Life Improvement Approach: From Home Taylorism to JICA Tsukuba, and Beyond」、『Psychosociological Issues in Human Resource Management 』、VOLUME 6(1)、2018.5

(3) 学会発表

国内、真鍋陸太郎・中村雄祐、「スペイン植民地帝国の文書流通の地理情報の可視化」、地理情報システム学会第28回学術研究発表大会、徳島大学常三島キャンパス、2019.10.20

(4) マスコミ

「教員の振り返る東大生活」、『東大新聞』、2018.8.28

「文化資源」から新たな可能性を見出し、社会につなぐー文学部・中村雄祐教授」、2018.11.2

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

特別講演、コスタリカ共和国農業牧畜省普及総局、「Presentación del SIMEVI (Sistema de Información de Mejoramiento de Vida y MIMASearch)」、2019.2

特別講演、コスタリカ共和国農業牧畜省普及総局、「Operaciones Básicas de MIMASearch para SIMEVI (Sistema de Información de Mejoramiento de Vida)」、2019.3

特別講演、SAP、「文化資源学と社会連携」、2019.7

特別講演、文化遺産国際協力コンソーシアム、シンポジウム「文化遺産の意図的な破壊—人はなぜ本を焼くのか—」、2019.12

(2) 学会

国内、文化資源学会、理事、2014.7～2020.6

国際、Japanese Association of Digital Humanities、学術雑誌編集委員、2014.10～

(3) 学外組織(学協会、省庁を除く)委員・役員

任意団体、文化遺産国際協力コンソーシアム、企画分科会委員、2018.4～

東京文化資源会議・幹事、2017.5～：地図ファブ、神田まちづくり、崖東夜話、文化資源プロデュース塾

東京大学消費生活協同組合・副理事長、2019.5～